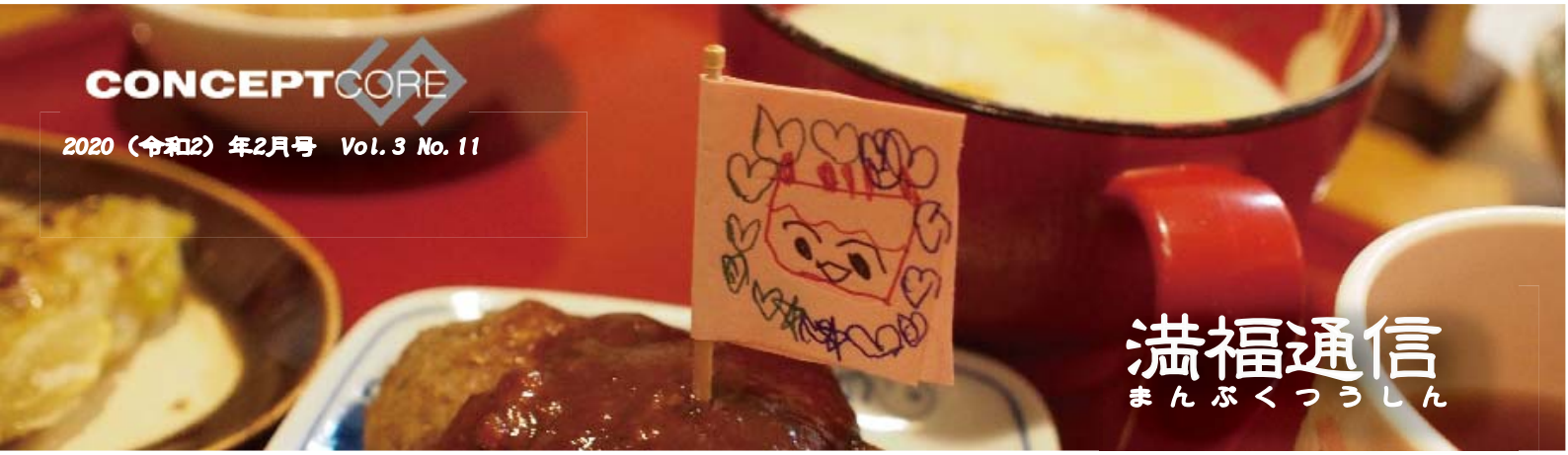

CONCEPTCORE
2020（令和2）年2月号　Vol. 3 No. 11

# 満福通信
まんぷくつうしん

早くも立春を迎えました。この冬一番の寒さも到来しましたが、立春を迎えるとやはり春が近いことを感じさせられます。少し遅い当社のベランダですが、木瓜の葉が顔を覗かせています。蕾もようやく膨らんで参りました。寒い中でも陽の光がエネルギーを増しつつあるような気がしています。

## 最近驚いたこと

日本の素晴らしいところはどこですか？という問いに皆さんはどう答えますか？ものづくり？伝統工芸？歴史？おもてなし？精神性？様々あると思いますが、2017年に経産省から発表された「世界が驚くニッポン！」という冊子のトップには、鯖江の眼鏡にはじまり伝統技術が紹介され、続いて日本人の精神性が紹介されていました。この現状に警鐘を鳴らす人のセミナーを聞いて驚きました。世界から見た日本の現状では、ものづくり大国日本というのはすでに過去の幻想となっていて、もはや製造業に明るい未来はありえないことがデータで示されました。続いて、IT教育後進国日本で、ようやく必修化されたプログラミング教育に関連して、ITの利用や情報教育においてもOECD加盟国の中でも底辺にあることが示されました。このままものづくりにしがみついていてはお先真っ暗です。第4次産業革命の中核的技術革新においても遅れに遅れる日本。素晴らしいどころか危機感しか感じないこの厳しい現実を目の当たりにして、我々は何をすべきかしっかりと見定めていかねばならないと気を引き締めました。（太）

## 真剣斬法のプライベートレッスン

毎週水曜日の午後、真剣試し斬りを通じて武士道精神を伝授するプライベートレッスンを開催しています。斬総研（きそうけん）は流儀流派を掲げない無所属の研究所です。ここでは、一振一振個性的な日本刀とそれを扱う個人の身体的特徴を踏まえ、それぞれの性能を引き出す方法をお伝えしています。その考え方を「斬法」と定義しています。先月掲載頂いた『月刊秘伝』にも書きましたが、斬法は各流儀流派で伝承される技（特殊）を補完する概念（普遍）であり、それをつなぐ個別的なアドバイスを含みます。各道場には絶対視されるそれぞれの教えがありますが、それらを自身の学びとして身体化するには、それなりの時間と労力が必要です。ところが斬法を学ぶと、あの教えはこういうことだったのかと理解できることがあるようです。当レッスンは、居合や剣術をされる方々だけでなく、グローバル企業の経営者など、世界中のトップリーダーにも提供しています。真剣を通じて心剣を獲得せんとする教えは、正に心に剣（義／人として正しい道）を持つべきリーダー層には必要不可欠なものです。経営や人生の重要な判断に迷われているリーダーの皆様は、一度真剣で迷いを一刀両断しにいらしてみてはいかがでしょうか。（太）

## ようこそ太仁亭（たじんてい）へ！

この冬、三浦大根を育てました。これまで総太り（上から下まで太さがほぼ均一）の品種しか育てたことがなかったのですが、煮物が美味しいと聞いて育ててみたくなりました。

久し振りの大根の種蒔き。発芽率は100%でした。お豆ちゃんと水撒きもして順調に育っていましたが、その後の台風19号による被害で芽が3つ流されたことは、2019年10月号にも書いた通りです。しかし、台風の被害を免れた大根達はその後もすくすくと立派に成長してくれました。お正月に初めて収穫したこの三浦大根は、引き抜くのに一苦労。首が細く中央辺りが太いので、総太りのように簡単には引き抜けません。周囲を掘って掘って掘って…やっとのことで収穫。かなりの重労働が故に作付が減ってしまったという歴史には、大きく頷けます。けれど、身が詰まっていて煮物が本当に美味しいのです。家庭菜園の規模では僅か十数本の作付ですから、来季もまた育てたいと思っています。（仁）

## 日本刀から生まれた言葉達-11「男は腰の物、女は衣装」

男には腰に帯びる刀が必要であり、女には衣装が必要であることから、人によって大切にすべきものが違うということ。当社の斬総研（きそうけん）（斬法総合研究所）で行っている真剣武士道では、真剣術の錬磨を通じて「心剣」の獲得を目指しています。心に剣を持つとは、心に義を備えることです。腰の物を帯びずとも心剣を帯びることで不動心を養い、それを平常心とすることを男の要諦とすべく日々修行に励んでいます。（太）

## 今月のお豆ちゃん

1月にお豆ちゃんは5歳になりました。12月のクリスマスに始まり、お正月、誕生日とイベントが続く冬は、楽しくて嬉しくて心も体もそわそわしてしまいます。どんなイベントがあって、どんなことが行われるのか、段々と分かるようになって来たのか、今年の冬は一段と落ち着きのないお豆ちゃんでした。保育園の誕生会、自宅での誕生会、正真正銘の誕生日。一体どこで5歳になるのか、何度も揉めました。（仁）

## 母さんも誕生日

１月は私の誕生月でもあり、いつの間にか番頭から昇格した我が社のサムライが、ハンバーグを作ってくれました。更に、お豆ちゃんが絵を描いてお祝いの旗を作ってくれました。裏には「くにこへ」と書いてあります。それをお豆ちゃんのハンバーグに立ててお祝いしてくれました。子供が生まれると、結婚記念日やその他の記念日を驚くほど忘れますが、１月はお豆ちゃんの成長を喜び、私が親として成長させてもらえた一年に感謝する大切な月です。（仁）

編集者：後藤紅仁子
kuniko-goto@ccore.co.jp
発行日：2020.2.17 立春（りっしゅん）
魚上氷（うおこおりをいずる）
発行所：株式会社コンセプト・コア
〒192-0373
八王子市上柚木 2-63-10
TEL/FAX　042-697-7473
https://ccore.co.jp/
過去号：ウェブサイト↑からご覧頂けます。
CONCEPTCORE